

2019年1月30日

**日本ユニシス**  
**通信型ドライブレコーダー「無事故プログラムDR<sup>®</sup>」に新機能。**  
**日本初、AI×リアルタイム画像解析技術で、交通違反の即時通知を可能に！**  
 ～ 社用車の安全運転を支援し、事故のない社会へ～

日本ユニシスは、法人向けに提供している通信型ドライブレコーダー「無事故プログラムDR」に、フューチャ株式会社のAIアルゴリズムを搭載し、リアルタイム画像解析技術を活用した、交通違反を即時通知する機能を追加し、2月1日から提供開始します。

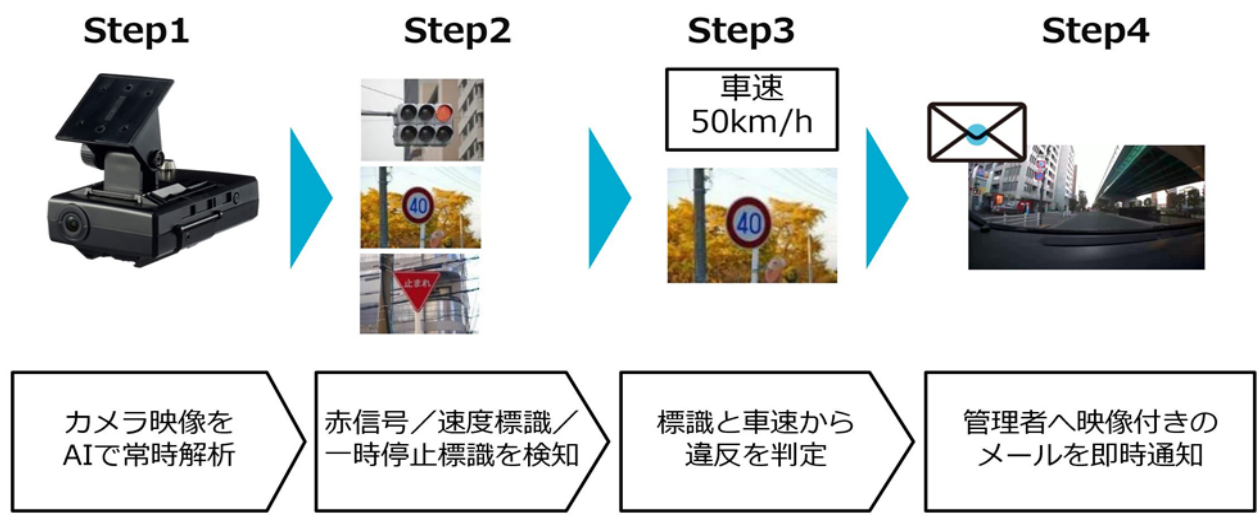
この新機能は、AIアルゴリズムで走行中のカメラ映像から赤信号、速度標識、一時停止標識をリアルタイムで検知し、交通違反の疑いのある運転を自動で判断して管理者へ映像付きのメールを通知するものです。日本ユニシスは、本サービスをお客さまの社員に対する運転指導に役立てることで、社用車の安全運転の実現と事故の無い社会を目指します。

**【背景】**

昨今、若年層の車離れや働き手の減少により、普段あまり運転をしない人が社用車を利用する機会が増えつつあります。また、交通事故件数は減少傾向にあるものの、依然として全国で1,000件/日を超える交通事故が発生しています。日本ユニシスはこの重要な社会課題である交通事故に対し、ドライブレコーダー×ITで社用車の安全運転を支援するサービス「無事故プログラムDR」を2009年から提供しており、現在約1,200社50,000台の販売実績があります。本サービスの開発にあたっては、信号無視や速度違反といった累犯性の高い違反を起こすドライバーは事故を起こす可能性が高い点<sup>(注1)</sup>に着目し、ドライブレコーダーをキーとした違反運転検知の取り組みを進めてきました。

**【新機能の概要】**

AIアルゴリズムが走行中のカメラ映像から赤信号、速度標識、一時停止標識をリアルタイムで検知し、交通違反の疑いのある運転を自動で判断して管理者へ映像付きのメールを通知するサービスです。



- 赤信号検知：赤信号を検知した後に走行した場合
- 速度標識検知：速度標識を検知し、標識速度から設定速度以上の超過があった場合
- 一時停止検知：一時停止標識を検知した後、停止せずに走行した場合



※上記画像は信号・道路標識を検知した際のイメージです。通知映像に□は表示されません。

※本サービスの機能 ON/OFF および標識通過時の超過速度は、お客さまにて自由に設定できます。

### 【期待される効果】

法人のドライブレコーダーの導入目的は、事故映像の記録、加速度センサーによる危険運転(ヒヤリハット)の見える化の2つが大勢を占めています。しかし、ドライバーが無意識に起こしがちな累犯性のある違反運転はヒヤリハットよりも多いと言われており、これらの見える化は交通事故のリスクを減らすために必要です。

本サービスにより、交通違反の疑いのある運転だけをドライブレコーダーが自動で見極めて即時通知することが可能になります。企業の管理者は届いたメールの映像を見るだけで社員の運転の見える化、指導ができるようになります。「無事故プログラム DR」は社用車管理という業務に対し、負荷を増やさずにより高度な安全運転指導を提供します。

### 【今後の取り組み】

日本ユニシスは、今回の新機能提供で得た知見やノウハウを、日本ユニシスの AI 関連サービス体系「Rinza<sup>®</sup>」(注2)と連携させ、安全運転啓蒙、モビリティ分野などでの実用化を検討していきます。

以上

#### ■フィーチャ株式会社について

2005年創業のAIベンチャー。独自の機械学習技術を用いて、高い精度と現実的な実装性能を合わせ持つ画像認識ソフトウェアを提供しています。第三回 TOKYO INNOVATION LEADERS SUMMIT グランプリ賞を受賞するなど、自動運転社会に向かう自動車業界において、独自の機械学習技術をコアとする画像認識ソフトウェアを持つ企業です。 <http://ficha.jp/>

#### ■関連リンク：

- ・法人・運行管理者向け「無事故プログラム DR」 <http://dr.unisys.co.jp/>
- ・社会課題を解決するデータ+AI Rinza <https://www.unisys.co.jp/solution/biz/ai/>

#### ※注1：出典元

2008年 財団法人交通事故総合分析センター発行「イタルダ・インフォメーション No.73」

#### ※注2：Rinza

日本ユニシスのAI関連サービス体系 Rinza は、自然言語処理技術、統計解析・将来予測、機械学習や深層学習などのAI関連技術を中心とし、ビジネスエコシステムを構成するパートナーから提供されるクラウドサービスやソフトウェアを取り入れたオープンなサービス体系です。

※無事故プログラム DR、Rinza は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

[https://www.unisys.co.jp/newsrelease\\_contact/](https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/)